

家庭科

【はじめに】

家庭科で学ぶ内容は、衣食住をはじめ、資源や環境とどのように関わり、将来自分が子どもや高齢者などどのように関わって生きていくのかという自分の生活そのものです。日々変化していく社会の中で、一人一人が主体的に自立して生きていけるように、必要な知識と技術を養い、生活を総合的にとらえ、生活を創造する力を身につけていきましょう。

【授業を受けるにあたって】

全ての学習領域が実生活と密接に関連しているので、現実を知り、問題意識を持って日常生活に焦点をあててみましょう。そして自分なりの意見や考えをもって、日常生活を充実向上させるために行動にうつしていきたいものです。

また、被服や調理の実習など自ら体験する時間も多く設定しています。きちんと身支度、持ち物を準備し、目的意識をもって取り組んでください。

【評価の観点】

- 知識・技能の習得
 - ・家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身に付けられたか。
 - ・現代社会の今日的な課題に目を向け、意欲的に追求し、理解をはかっているか。
 - ・被服製作や調理実習において、日常生活に必要な基礎的・基本的な技術を習得できたか。
- 思考・判断・表現の育成
 - ・日常生活から問題を見出し、課題を解決するためにさまざまな角度からの試みを積極的にすすめているか。その際、社会の変化、さまざまな立場・考え方を踏まえながら公正に判断しているか。
 - ・情報や資料を各方面から積極的に収集し、役立つものを主体的に選択し、活用しているか。
- 学びに向かう力・人間性
 - ・生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を身につけているか。
 - ・グループで協力して調べたり、活発に意見を交換したりするなど、意欲的に学習に取り組んでいるか。

【授業形態】

家庭科で学ぶ「家庭基礎」は2単位必修の科目であり、週に1度2時間続きで行います。被服製作や調理実習など実験・実習をする機会も多く設定しています。